

乃美地域センターだより

NO. 153

令和7年12月

～板鍋山なごみ園：しあわせ坂への『手摺』設置が完了～

標高757mの板鍋山、頂上から望む360度の大パノラマ絶景は登山者を魅了する豊栄の宝物でもあり、貴重な観光資源です。山頂近くまで車で登れる利便性の良さから、近年では老若男女を問わず登山をされる方も増え、人々は春の新緑、夏から秋にかけてはタカの渡り・雲海・燃える紅葉と四季を通じて「くつろげる」スポットとなっています。また、最近では「板鍋山登山マラソン」も定着して激坂ファンのメッカとなりました。

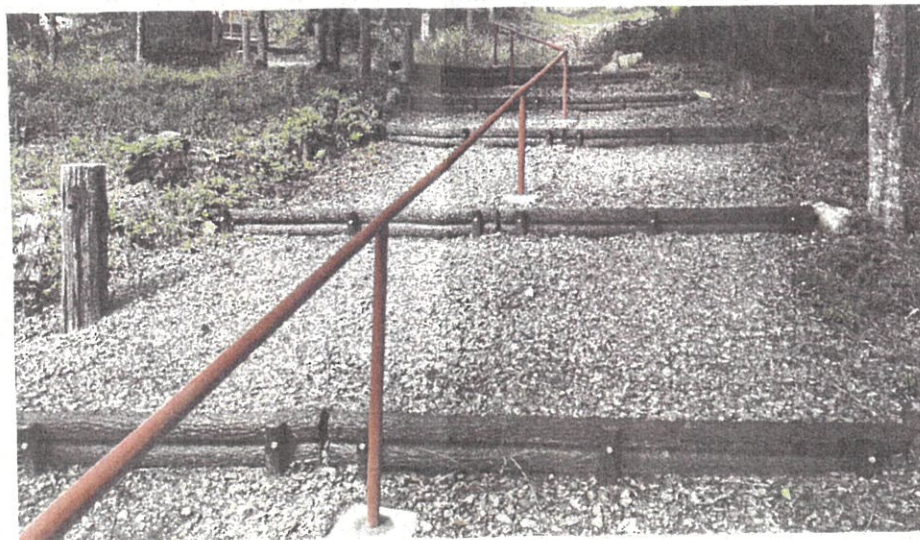
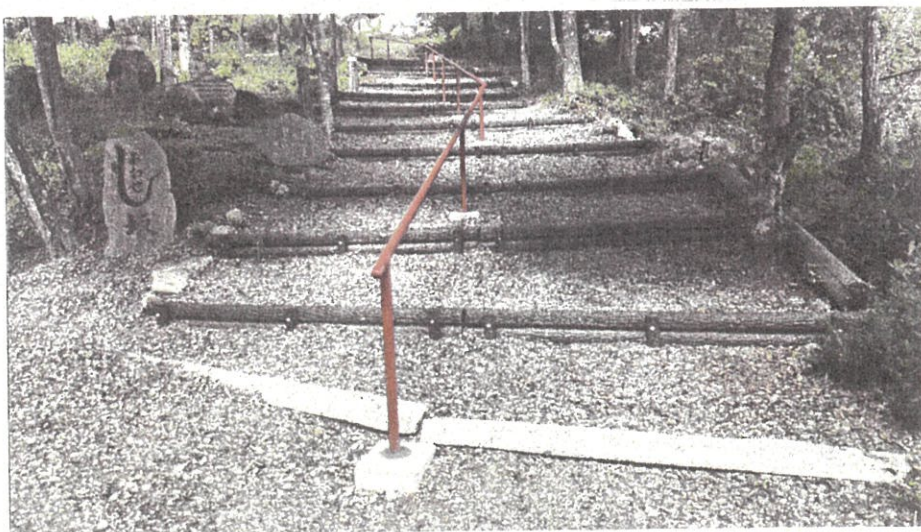
先人たちの努力で山頂一帯は「なごみ園」(1992・開園)として整備され、町の数少ない資源として観光開発に尽力されてきた歴史があります。電柱の廃材やガードレールを活用した展望台や登山道(しあわせ坂)、ブランコやすべり台などの各種遊具施設、しあわせ地蔵の設置や地域住民から寄せられた俳句碑、キャンプ場などが整備されていました。しかし、時の経過とともに各施設とも経年劣化が激しく、乃美別府住民自治協議会ではセンター長を中心として、「なごみ園の再生」を目指して東広島市の手厚い支援をうけながら再整備に取り組んできました。東広島市の「市民協働のまちづくり活動応援補助金」は三回の支援をえて、合計240万円の補助を受け再生事業は軌道に乗って進行いたしました。

年度	事業名	総工費
令和3年	板鍋山山頂に設置されている展望台のリニューアル	240万
令和4年	板鍋山なごみ園内の老朽トイレの撤去並びに「しあわせ坂」整備	110万
令和7年	板鍋山なごみ園内の公園階段への「手摺(てすり)」設置工事	125万



本年度の「なごみ園内の公園階段への「手摺(てすり)」設置工事は、地元の(株)二葉様に工事を発注。工事は手摺基礎ブロック設置(6・30～7・1)⇒現地加工溶接手摺組立(9・11～9・12)⇒モルタル目地仕上げ(9・17)の工程で工事を完了していただきました。これにより、高齢や足腰が衰えた人達にも新展望台への登頂が可能となり、大変喜ばれることと思います。先日も東広島市郷土史研究会の豊栄探訪があり、15名の参加者からも「楽に登れた」と賞賛の声があがっていました。

今回の工事で予定していた板鍋山整備事業はすべて完了し、私たちの郷土の誇りでもある板鍋山が今後とも末長く愛されてゆくことを期待したいと思います。



～（祝）為成五月男氏：『旭日単光章』受賞の栄誉に～

令和7年度高齢者叙勲（内閣府：令和7年7月1日付）

乃美在住の為成五月男氏が令和7年度高齢者叙勲で旭日単光章受賞の栄誉に輝かれました。高齢者叙勲は、春秋の叙勲制度によって勲章を授与されていない功労者に対して、年齢が88歳に達した機会に授与される勲章制度で、旭日単光章などが授与されています。

為成氏は昭和12年生まれで御年88歳、長年、豊栄町の町議会議員や町議会議長を歴任された「地方自治功労」分野での旭日単光章受賞となります。地元である乃美・別府地区の圃場整備や河川改修への取り組みをはじめ、豊栄町の消防団長なども務められています。

また歴史への造詣も深く、「乃美の郷研究会」の会長として戦国時代に乃美を支配していた乃美氏の墓所を「乃美氏菩提寺金剛寺跡古墓群」として整備【中国新聞：1996（平成8）参照】されたり、乃美地域センター内の体育倉庫の建設などにも尽力されています。

今回の受賞は地域にとっても大変喜ばしいことであり、氏におかれましては今後も健康に留意され、長寿を全うされることを祈念いたします。

《花の寄せ植え：12月16日（火）》



《 シイタケの植菌体験について 》 -体験交流部- 要予約

日時・令和8年1月27日(火) 9:30～(受付9:00開始) 30人程度
 講師・森林組合 波光幸一様、常田武則
 参加費・原木一人3本まで 1,500円 (軽食付き1,600円)
 申込み・下記の用紙に記入して乃美センターへ持参
 締切り・令和8年1月16日(金)まで (定員になり次第締め切ります)
 持参物・作業着、作業手袋、水分
 お願い・体験講座ですので、当日は必ずご参加ください。
 また、原木のみの販売は致しません。よろしくお願いいたします。

《シイタケ植菌体験申込書》

住所・氏名(フリガナ)

電話番号

原木本数 _____ 本

食 有 ・ 無 合計 _____ 円

【 お知らせ 】

毛利元就の盟友・乃美氏
 住民が墓所を整備

豊 栄

戦国時代、毛利氏に加勢し豊栄町乃美を支配、地名の由来となった豪族・乃美氏をしのぶ墓所が地元民で作る「乃美の郷研究会」(為成五月男会長)によって整備され、十六日、同町乃美で、約五十人が参列して建立記念式典が行われた。

合戦で陶晴賢の水軍を破った。関ヶ原の合戦後、毛利氏とともに山口県萩へ移封され、豊栄町にあった墓所は荒れ果てていた。来年、NHKの大河ドラマで「毛利元就」が放映されることから、今年六月、為成会長らが郷土の歴史を見直す」と研究会を結成。地区民から浄財を募り、町内の十数か所に散らばっていた五輪塔、地藏墓などを菩提寺・金剛寺境内跡の畑約三十平方メートルに集め、墓石を組み合わせて十基の墓を整備、新たに供養塔を作るなどした。



為成会長は「乃美氏なくしては毛利氏は語れない。町おこしに役立て、今後は城跡整備に取り掛かりたい」と話している。